

安全・安心な市民生活を応援 八街市消費生活センター



迷ったときは、一人で悩まず、お気軽にご相談を

思わぬ高額請求！
移動販売の物干し竿
購入トラブル

★相談事例1

「物干し竿2本で千円」と巡回していた移動販売車を呼び止めた。するといきなり値段表を見せられ、3千円を指差して「これしかないがよいか」とアナウンスとは違う竿を勧められ「ステンレス製で質も良い」というので4本注文した。代金を支払う際に、突然8万円請求された。値段表と違うと指摘したが「それは50cm当たりの料金だ」と言われた。財布にあった5万円を渡してどうにか帰ってもらったが、業者は若い男性で家には自分一人だったため怖く、それ以上抵抗できなかったが高額でおかしい。返金してもらえないか。

★相談事例2

物干し竿移動販売のアナウンスが聞こえたので、呼び止めた。「昔の値段で売ってま〜す」と言うので、常識的な価格だと思い、3本注文した。自宅用に合わせた長さに切った物干し竿を持ってきて、3本で約13万円を請求された。驚いて抗議したが「切っちゃったから返品できない」と言われた。交渉して約9万円を仕方なく払った。

へ相談員のアドバイス

物干し竿の移動販売では、市価の数倍もの金額を請求し、威圧的な態度で支払いを強要するケースなどがみられます。また、「物干し竿だけを希望しているのに物干し台まで買わされた」というケースもあります。

クーリング・オフができるケースがほとんどですが、領収証が渡されなかったり、連絡先が架空だったため、業者との返金交渉は極めて困難です。車のナンバーだけでも控えるようにしましょう。

購入前には、「1本〇〇円ですわね」「〇〇円以上の支払いはありませんね」などはっきり価格を確認し、納得できない場合は、断りましょう。すこまされて恐怖を感じた場合は、近所の人や警察に助けを求めましょう。

※「相談員のアドバイス」は、相談事例のほかに、類似した相談のアドバイスも掲載しています。

消費生活センターからお願い
消費生活センター

☎ 443・9299

月曜〜金曜日（祝日を除く）

午前9時〜正午・

午後1時〜4時

商工観光課

☎ 443・1405

まちのわだい

「林地残材等の受け入れ及び木質バイオマス利用増進に関する協定」の締結調印式を行いました

10月17日(月)に、株式会社エコグリーンホールディングスと「林地残材等の受け入れ及び木質バイオマス利用増進に関する協定」の締結調印式を行いました。この協定は、公共事業で発生した伐採木や台風被害で発生した倒木などの残材を木質バイオマス発電の燃料として無料で受け入れてもらえるようになり、市や森林の所有者の処分費用が軽減されます。また、カーボンニュートラルであるバイオマス発電により、地球温暖化防止に貢献することになります。 ※木質バイオマス発電とは、木材などを燃焼し、ボイラーで発生させた高温高压の蒸気で蒸気タービンを回して発電するものです。 ※木材を燃焼させて発生するCO²は、その木材が光合成によって吸収したCO²と同等であるので、バイオマス発電はカーボンニュートラルであるということになります。



北村市長 石井代表取締役

市税等に関する啓発ポスターコンクールの受賞者が決定しました

10月26日(水)に、市税等に関する啓発ポスターコンクール表彰式を行いました。受賞された方は次のとおりです。なお、最優秀賞を受賞された細谷凜音さんの作品は「市税等に関する啓発ポスター」として市内のスーパーやコンビニエンスストアなどに掲示しています。



八街市長賞（最優秀賞）
八街南中学校2年
細谷 凜音さん



八街市市税等徴収対策本部長賞（優秀賞）
八街東小学校5年
品田 芙季さん



八街中学校2年
前田 涼陽さん

吉野拓海さんが国民体育大会優勝報告のため表敬訪問

千葉黎明高等学校2年の吉野拓海さんは、栃木県で開催した第77回国民体育大会ライフル射撃競技の千葉県代表として出場し、10mエア・ライフル少年男子立射60発競技において見事優勝されました。 11月10日(木)に市長を表敬訪問され、優勝報告とともに「全国高等学校総合体育大会で3連覇を成し遂げたい」と今後の豊富を語られました。



吉田校長 北村市長 吉野拓海さん 保谷監督

第15回ノルディック・ウォークでわが町・八街を歩こう！に行ってきました



11月13日(日)に、スポーツプラザを出発し、岡田・根古谷・用草地区約6.5kmの道のりをノルディックポールを使って歩きました。また、八街市文化財ボランティアの方と一緒に法宣寺や根古谷城跡の史跡などに立ち寄って歴史探訪をしました。

「子ども・若者育成支援推進強調月間」の啓発活動を実施

11月8日(火)に、イオン八街店・スーパーセンタートリアル八街店・JR八街駅・JR榎戸駅前において、社会教育委員、青少年相談員、更生保護女性会などの方々が「子ども・若者育成支援推進強調月間」に合わせて青少年の健全育成を呼びかけました。

